

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年6月5日～6月11日)

平成 26 年(2014 年)6 月 13 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
政治 コモロフスキ大統領がノルマンディー上陸70周年記念式典に出席 コモロフスキ大統領がウクライナ大統領就任式典に出席 シコルスキ外相がポ・独・露三カ国外相会合に出席 シェモニャク国防相がイスラエルを訪問								【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍
経済 ユーロ参加についてのピエホチェンスキ副首相の発言 ピエホチェンスキ副首相兼経済大臣がEUの味付たばこ規制に強く反対 ウクライナがポーランド産豚肉を輸入再開する可能性あり 世界銀行が経済成長率を上方修正 ポーランドはEU最大の窓輸出国に 上海電気社がトゥルフ発電所の入札に関し提訴 シェールガス埋蔵量が下方修正される ポーランド下院がシェールガスに関する新たな法律を採択								
大使館からのお知らせ クラクフにおける領事出張サービスについて 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分) 大使館広報文化センターの開館時間延長について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事								
在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm								

政	治
外	交

コモロフスキ大統領がノルマンディー上陸70周年記念式典に出席【6日】

6日、コモロフスキ大統領は、仏ノルマンディー地方で開催されたノルマンディー上陸70周年記念式典に出席した。同式典には、オバマ米大統領、メルケル独首相、英国女王エリザベス2世を始めとする約20カ国の西側諸国代表が出席した。また、コモロフスキ大統領は、同記念式典の前に、1944年8月のポーランド軍とナチス独軍による2つの丘を巡る戦闘を記念する Memorial Montormel を訪問し、同記念式典後には、615名のポーランド兵士が埋葬されているウルヴィル＝ランガネリー墓地において、オランダ仏大統領と共にポーランド・仏合同式典を開催した。

コモロフスキ大統領がウクライナ大統領就任式典に出席【7日】

7日、コモロフスキ大統領はキエフの最高会議内で行われたポロシェンコ・ウクライナ大統領の就任式典に出席した。コモロフスキ大統領は、キエフ滞在中、ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長と会談、抗議デモ犠牲者への献花等も行った。同大統領は、記者団に対し、ポーランドはウクライナの欧州への熱望を支持している、ウクライナがEUとの連合協定の署名及び右協定内容の達成を通じて西側システムに入ることが最も重要であり、6月27日に見込まれている連合協定への署名を確実に行わなければならない旨述べた。

い旨述べた。

シエモニャク国防相がイスラエルを訪問【9日】

9日、シエモニャク国防大臣はイスラエルを訪問。ヤアロン(Moshe Ya'alon)イスラエル国防大臣と会談し、シリア及びウクライナ情勢等、世界的並びに地域的な安全保障環境について意見を交換すると共に、ポーランド・イスラエル間の軍事協力について協議。

シコルスキ外相がポ・独・露三カ国外相会合に出席【10日】

10日、シコルスキ外相は、露サンクトペテルブルクで開催されたポ・独・露三カ国外相会合に出席し、ウクライナ紛争の解決につき議論した。シコルスキ外相及びシュタインマイヤー独外相は、クリミア併合及びウクライナ東部情勢の不安定化が国際社会にとって受け入れられるものでないことを強調し、ロシア政府に対し、ウクライナとの国境を封鎖し、分離主義者への武器の供給を停止するよう訴えた。またシコルスキ外相は、ロシアはウクライナ情勢の安定化・緊張緩和に大きく貢献し得る、ウクライナとの良好な関係はEUのみの利益ではなく、何よりもロシアの利益となる、モスクワとキエフは歴史的、文化的、経済的、人的な絆によって結びついており、誰もその絆を引き離すつもりはない旨述べた。

経	済
経済	財政政策

ユーロ参加についてのピエホチェンスキ副首相の発言【6日】

ピエホチェンスキ副首相兼経済大臣は、ポーランドのユーロ圏への参加について、議会選挙まで議論を待つべきであるとの見解を示した。同副首相は、下院議会での多数の賛成が必要であるとの憲法上の要請を踏まえつつ、ラジオ局のインタビューに対して、下院議会の過半数はユーロ圏参加に反対であり、議論する意味はない、スロベニアと同じ轍は踏まない、と語っている。さらに、ポーランドがユーロ圏に参加する際には、次世代の産業や十分機能する制度等により、競争力のある経済である必要がある、と述べている。

ピエホチェンスキ副首相兼経済大臣がEUの味付たばこ規制に強く反対【9日】

ピエホチェンスキ副首相兼経済大臣は、欧州内で

の味付たばこを禁止するEU指令に対し、国益及び基本的権利のほかに補助金の原則及び市場バランスを侵害するものとして、欧州司法裁判所(ECJ)に諮問すべく他の閣僚に支持を働き掛けている。トゥスク首相も、副首相の見解が個人的なものだとしても政府としては支持していく方針としている。本指令では、2016年までに味付たばこの販売を禁止しており、例外としてメンソールにたばこについては2020まで猶予が与えられている。

ウクライナがポーランド産豚肉を輸入再開する可能性あり【10日】

サビツキ農業・農村開発大臣はキエフを訪問し、ポーランド産食肉輸出に関しウクライナのシュハイカ農業大臣と会談を行った結果、早ければ17日にも豚肉及び骨無牛肉の輸出が再開できる見込みと発表した。近々ウクライナの獣医当局がポーランド

を訪問することになり、骨付牛肉についても9月末

までに輸入が再開されると説明した。

マクロ経済動向・統計

世界銀行が経済成長率を上方修正【11日】

世界銀行は最新の経済予測を発表し、2014年の経済成長率を半年前に発表した2.8%から3.3%に、2015年を3.3%から3.5%に上方修正した。ポーランド政府も2014年の経済成長率を3.3%と予測しており、2015年政府予算案について

は経済成長率3.8%で作成している。世界銀行は、近隣諸国についても、ラトビアとリトアニアがそれぞれ、2014年に3.8%と3.3%、2015年は両国ともに4.0%と高い予測を発表しているが、チェコについては2014年に2.0%、2015年は2.4%に止まっている。

ポーランド産業動向

ポーランドはEU最大の窓輸出国に【9日】

2014年第一四半期において、350のポーランド企業が600,000以上のプラスチック製の窓を50以上の国に輸出している、との調査結果が出され

た。これはEU最大の輸出国であることを示している。また、同時期には165の企業から400,000の木製窓が45カ国に輸出されている。これらの数字は、2013年のものよりも多くなっている。

エネルギー・環境

上海電気社がトゥルフ発電所の入札に関し提訴【6日】

中国企業の上海電気社は、日立・Budimex コンソーシアムが40億PLNで受注したトゥルフ発電所プロジェクトに関し、国立控訴審裁判所に入札のやり直しを求め上訴した。上海電気は、採択の経緯に関し書面での説明を求めている。また、中国大使館は、日立が建設しているコジェニツェ発電所の建設費用が63億PLNであることから、同社のパフォーマンスを注視している。

報局が2013年6月に4.3兆立方メートルの埋蔵量があると示していたが、これは本来100カ所での掘削試験を行うことが信頼性の観点から必要とされていたところ、高コストのため10カ所で行われているのみであった。専門家は、外国人投資家はポーランドへの投資から手を引き、PGNiG社(国有石油・ガス会社)とPKN社が事業を独占するのではないかと、この見解を示している。

シェールガス埋蔵量が下方修正される【10日】

6月9日に開催された第3回 Shalescience 2014において、最近の調査の結果、ポーランドにおけるシェールガスの埋蔵量が当初想定されているものよりも少ないとの報告があった。米国エネルギー情

ポーランド下院がシェールガスに関する新たな法律を採択【11日】

ポーランド下院(Sejm)は、火曜日にシェールガス採掘に関する新たな法案を採択した。同法案では、試掘・採掘に関しこれまで数種類あった許可証を一つにし、それらに先立つ物理探査については許可が不要となった。

大使館からのお知らせ

クラクフにおける領事出張サービスについて

大使館は、6月14日(土)10時から13時までの間、Qubus Hotel(Nadwislanska 6, 30-527, Krakow)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/ryoujishuccho.krakow26.pdf>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来通り9時から17時までご利用いただけます。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,
住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成 27 年 3 月 31 日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記 HP をご覧下さい。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【予定】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

【予定】文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からは U.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, ワジェンキ宮殿博物館, ul. Agrykoli 1

詳細: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/en/Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,
<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【予定】第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル【6月6日(金)～7月9日(水)】

クラクフにて、クラクフ歌劇場主催による『第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル』が開催されます。7月9日18時半からは、歌舞伎役者の中村吉太郎氏による素浄瑠璃と歌舞伎舞踊の公演が行われます。

開催場所: クラクフ歌劇場, ul. Lubicz 48

詳細: <http://www.opera.krakow.pl/en/news/18th-summer-krakow-opera-festival>

【予定】第2回ポーランド極真空手選手権大会 IKO TATARIA CUP 14【6月14日(土)】

ノヴァ・サジナ市レジャイスク市極真空手クラブ主催による『第2回ポーランド極真空手選手権大会 IKO TATARIA CUP 14』が開催されます。

開催場所: Nowa Sarzyna, Hala MOSiR ul. Konopnickiej 2

詳細: www.karate.lezajsk.pl

【予定】第6回伝統空手ヨーロッパ・カップ Orlen2014【6月14日(土)】

スタラ・ヴィエシにて、ポーランド伝統空手協会主催による『第6回伝統空手ヨーロッパ・カップ Orlen2014』が開催されます。

開催場所: スタラ・ヴィエシ, Centrum Japonskich Sportow i Sztuk Walki „Dojo - Stara Wies”

詳細: www.karate.pl

【予定】昔昔あるところに【6月15日(日)】

ワルシャワイリュージョン映画館にて、国立映画ライブラリー主催による『昔昔あるところに』が開催されます。15:30 時, 入場料: 15PLN.

開催場所: Warszawa, Kino Iluzjon, ul. Narbutta 50a,

詳細: <http://www.iluzjon.fn.org.pl/aktualnosci/info/315/za-siodma-gora-basnie-japonskie.html>

【予定】ポーランドの能【6月15日(日)～17日(火)】

ジェラゾヴァ・ヴォラ, クラクフ, カトヴィツェにて、日本美術技術博物館 Manggha とシレジア劇場共催による『ポーランドの能』が開催されます。

開催場所:

15日 ジェラゾヴァ・ヴォラ 「シヨパン博物館」, Zelazowa Wola 15

16日 クラクフ 「日本美術技術博物館 Manggha」, ul. Marii Konopnickiej 26

17日 カトヴィツェ 「シレジア劇場」, ul. Rynek 10

詳細:<http://manggha.pl/>, <http://www1.teatrslaski.art.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)